

広報きたやま

KITAYAMA

2026

1

No.267



運動会

「賑わいのある、笑顔 の絶えない北山村」を 目指して



村長 泉 清久

新年あけましておめでとうございます。村民の皆さまにおかれましては、令和8年（2026年）の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、村政運営に、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の北山村を振り返りますと、25年の歴史ある「北山川観光筏下り」が累積乗船者数25万人を達成するとともに、初めてシーズン一万人を突破いたしました。また、北山村特産の「じゃばら」

事業については、生産量及び製品売上げともに前年を上回り、生産・販売ともに順調な年となりました。

これもひとえに、これまで長きにわたリ筏流しの技の継承やじゃばらの生産から加工・販売に携わって頂いた多くの村民の皆さまや関係者のご努力とご協力の賜物であり、あらためて感謝を申し上げます。

一方で、北山村においても全国と同様に、人口減少、少子・超高齢化が進行しており、今後、様々な場面で、担い手不足等の深刻化が危惧されています。

このような中、本年、北山村（七色・竹原・大沼・下尾井・小松）は、明治4年（1871年）の廃藩置県により和歌山県に編入されてから155年を迎えます。

この節目の年に、これまで単独で歩んできた北山村の魅力をさらに高め、将来に向かって安全・安心のむらづくりを進めていく「新・北山村長期総合計画」をスタートさせます。

「新・北山村長期総合計画」では、15年後の2040年の将来像を「守り育て、発展する北山村」・「じゃばら」「筏」「村

民の暮らし」とし、①賑わいのあるむらづくり、②心豊かな人を育てるむらづくり、③健康で笑顔の絶えない村づくり、④快適で安全なむらづくり、⑤未来へとつながる村づくり、の5つの基本目標と、17の重点施策を設定し、時代に適応する柔軟性をもって取り組むことを予定しています。

本年は「午年」です。午（うま）は、前向きなエネルギー・成功・繁栄のシンボルとされ、午年は「馬のように、活発さや前進する力を象徴する年」と解されています。

まさに、新たな方向性を示し、挑戦するにふさわしく、「賑わいのある、笑顔の絶えない北山村」の実現に向け、職員と一丸となって取り組んでまいりますので、村民の皆さまには、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、令和8年が皆さまにとって、これまで以上に笑顔の多い、また健康で幸せな一年となりますことを心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

謹賀新年

誰もが安心して

暮らせる村づくり



議会議長 藪本 英明

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、村議会の運営に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

令和8年（2026年）の輝かしい新春を迎えられたことを、村民の皆さまとともにお慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、本村を取り巻く環境は、人口減少や高齢化など依然として厳しい面がある一方で、地域を支える多くの皆さまのご努力によって、議会における審議や施策の検討がより実りあるものとなりました。

特に、昨年度より新たに女性議員が加わり、議会としても多様な視点からの意見交換が活発になるなど、議論の幅が一層広がりました。

教育、福祉、子育て支援等、様々な分野において、より多様な声が議論の中に反映され、議会全体としての活力向上にもつながりました。

また、議会だよりを通じ、定例会での議論内容や審議結果を丁寧にお伝えすること、村政と村民の皆さまとの距離を縮め、議会の透明性と開かれた姿勢の確保に努めてまいりました。

これらの取り組みが成果を上げられたのは、村民の皆さまお一人おひとりの温かいご協力あつてのことと、あらためて深く感謝申し上げます。

さて、本年は、本村の将来を導く「新・北山村長期総合計画」がいよいよ始動する節目の年となります。

議会としても、村民の皆さまから寄せられる声をしっかりと受け止め、地域産業の振興、観光の活性化、防災力の強化、教育、子育て・福祉の充実といった重要施策が確かな前進を遂げるよう、適切な審議と提言を行ってまいります。

そして、村の現状と課題を見つめながら、計画が実効性を持って進むよう、議

会としての責務を果たしていく所存です。

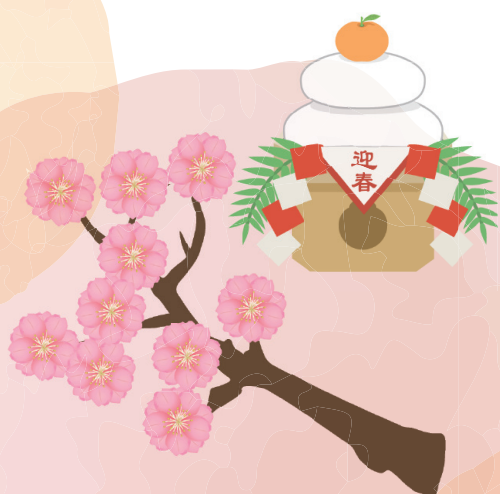
ところで、昨年はスポーツ界においては、野球の大谷翔平選手をはじめ、多くの日本人選手が世界で大きな活躍を見せ、国中に明るい話題と勇気を与えてくれました。

困難な状況でも挑戦し続ける姿勢は、私たち地方自治体にとっても大きな励みです。

北山村におきまして、この前向きな力に学びながら、「賑わい」「笑顔」「安心」のあふれる村づくりに向け、議会としてたゆまぬ努力を続けてまいります。

結びに、令和8年が村民の皆さまにとって健やかで心豊かな一年となり、多くの笑顔で満たされますよう心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。

本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



村民運動会



10月18日に北山小中学校で村民運動会が開催されました。天気予報が外れて、あいにくの雨模様でしたが、会場を体育館に移し、保育園児と小・中学生による元気いっぱいのダンスや、一輪車演技の披露では大きな歓声が響きました。

玉入れやパン食い競争、フォークダンスやじゃんけん列車では、子どもから大人まで一緒になって競い合うなど、笑顔が絶えない運動会となりました。

参加された皆さん、応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。



のりものの冒険隊

和歌山大学の学生さんたちが北山村に来て、じゃばらハウスで、「のりものの冒険隊」を開催していただきました。
大学生のみんなと一緒に「夢のバス」を考えた、旅の計画を立てたり、公共交通すくろくを通じて、バスや電車などの公共交通の使い方を楽しく学びました。



8/19

防災キャンプ

北山小学校の4年生と5年生が防災キャンプに参加しました。
まずは災害時の行動や防災グッズの使い方を学び、その後、実際にキャンプ形式で避難生活を体験しました。
子どもたちは楽しみながら防災への意識を高め、「もしものときに自分たちができること」をしっかりと考える一日となりました。



8/26

銀河出発式

和歌山〜京都間を走る観光鉄道「WEST EXPRESS 銀河」の出発式が新宮駅で行われ、北山村の非公認ヒーロー「じゃばらライダー」が応援に駆け付けました。
会場では地元の保育園児や観光客が訪れて、じゃばらライダーと記念撮影をする等、大きな賑わいを見せていました。



8/27

敬老会

9月12日に、村民会館で「敬老会」が開催されました。
敬老祝い金の授与や模範高齢者の表彰のほか、村への健康活動へのお礼として、株式会社りらいぶへ感謝状の授与を行いました。
また、保育園児や小中学生からもお祝いの歌やダンスを披露していただき、笑顔があふれるひとときとなりました。



9/12

3つの全国学会で発表しました！

北山村では、「病気になるな いこと」「転倒などで怪我をしないこと」をテーマに、役場保健師・診療所・社会福祉協議会が連携し、村民一人ひとりに寄り添った予防医療の推進に取り組んでいます。
先般、これまでの活動と成果について、役場保健師と診療所（医師・理学療法士・看護師2名）の計5名が、左記の3つの全国学会で発表を行いました。
発表を通じて、日々の取組を振り返るとともに、他地域の事例発表から学びを得る機会となりました。
今後も、関係機関が連携を強化しながら、「顔が見える予防医療」を実践してまいります。



10/2



【発表学会】

第65回 全国国保地域医療学会（和歌山城ホール）

第47回 日本高血圧学会（東京証券会館）

第84回 日本公衆衛生学会（静岡県コンベンションアーツセンター）

奥瀬道路Ⅲ期要望

奥瀬道路は、北山村を中心に三県にまたがる道路で、観光や医療・福祉、更には地域間の交流促進など、広域での地域振興に不可欠な道路です。また、南海トラフ巨大地震などの災害への

備えとして奥瀬道路の早期整備が悲願です。Ⅲ期区間が整備されると日常生活の利便性、安全性が飛躍的に改善されます。そのために、村では年2回、早期の完成を要望しています。



9/29



じやばら商品試食会

じやばら商品の試食会が、北山村観光センターで開催されました。

会場では、来春の発売を目指して試作中の「じやばら酢」を始めとする、様々な商品の試食が行われ、皆様から寄せられた意見は、商品の改良に活かされる予定です。



きののぴー教室

北山保育所で、県主催の森林や木材の大切さを学ぶ「きののぴー教室」が開催されました。

森のマスコットキャラクター「きののぴー」との触れ合いや、紙芝居を通して、森の役割や木材が私たちの生活にどのようなに使われているかを子どもたちと一緒に楽しく学びました。



北山川観光筏下り

累計25万人達成

例年多くの観光客が訪れている「北山川観光筏下り」の、累計乗船者数が25万人を達成しました。

また、今シーズンは過去最高の1万人を超える方々



が乗船し、自然豊かな溪谷美と迫力ある急流を楽しみました。

今後も魅力ある体験づくりを進めながら、安全運航を心がけ、北山村ならではの観光資源としてさらに盛り上げていきます。



じやばら感謝祭

じやばらの里の収穫祭の翌日、道の駅おくとろにある「邪払(じやばら)神社」で、「じやばら感謝祭」が行われました。

北山村のじやばら産業に関わる方々が、村の繁栄と住民の幸せを願い、じやばらの恵みに感謝しました。



北山小中学校 ミニ運動会

村民運動会が室内での開催となったため、当日できなかったリレー競技等を「ミニ運動会」として、北山小中学校で開催されました。

小・中学生と保護者の皆さんが参加し、小規模ながら



でも大変な盛り上がりを見せていました。

特に今年度卒業を迎える中学3年生からは、「卒業前に素晴らしい思い出ができました。皆さんありがとうございました。」との声もあり、温かい時間となりました。

旭 日双光章叙勲

北山村前村長の山口賢二氏が、地方自治の分野で、顕著な功績を挙げた方に贈られる「旭日双光章」を受賞されました。

山口氏は平成28年から、2期8年にわたり村長として村をけん引し、奥瀬道路を中心に村へのアクセスの向上、じやばら事業の民営化、観光振興など、多くの実績を挙げられました。



大阪・関西万博で 北山村をPR！！

9月9日に役場、株式会社じゃばらいず北山、北山振興株式会社、北山村観光協会が合同で、大阪・関西万博の和歌山県地域PRイベントに参加してきました。会場では、村の特産品であるじゃばら商品の紹介や販売を行い、またたく間に完売しました。

また、北山村の非公認ヒーロー「じゃばライダー」も登場し、参加者を交えての写真撮影やパフォーマンスで大きな歓声を受けていました。

さらに、最新VR機器を使った“北山村の観光筏下り体験会”も実施され、VRゴーグルを被り360度のパノラマで見る映像は、実際に北山川を筏で下っているような臨場感を演出し、参加者は驚きの声をあげていました。

北山村ブースには、終日行列が絶えない程の大盛況で、北山村の魅力を多くの人に知ってもらう絶好の機会となりました。



ナウル共和国と北山村 が広報連携を締結

南太平洋にある島国・ナウル共和国は、世界で3番目に小さな独立国家として知られています。このたび北山村は、ナウル共和国と広報連携を結びました。きっかけは、SNS上での暖かいやりとりから始まった交流です。

大阪・関西万博のナウル共和国パビリオンでは、北山村の特産品などが展示され、国内外の来場者に村の魅力を紹介する場となりました。

ナウル政府代表代行のエイケンさんからは「まずは、文化的交流から始め、将来的には経済的な発展につながっていけば」とのお言葉もいただき、国境を越えたつながりが生まれています。

今後もSNSやイベントを通じて、両地域が協力しながら、それぞれの魅力を世界に発信していく予定です。



KITAYAMA TOPICS

じゃばら収穫祭

「じゃばらの里の収穫祭」が、おくところ公園内で行われました。雨の中、千人以上の方が来場され、和歌山県庁相撲部の「すもう実演」や、毎年恒例のじゃばらジュースの早飲み、しし鍋の無料配布、じゃばらライダショー等が催されました。



福祉のげんき祭り

「第12回福祉の元気祭り」が高齢者生活福祉センターで開催されました。村内の飲食店や社協、診療所などが出店し、大盛況でした。また、健康食のカレー試食会や、北山村消防団の3名の女性防災士と、内川先生による防災講演会が行われ、多くの参加者が防災について学びました。毎年、恒例の餅まきも行われ、笑顔がいっぱいのお祭りとなりました。



『肺炎退散！！の身体づくり』

風邪をこじらせて肺炎になった、...

そんな話は皆さまどこかで一度は聞いたことがあるか
と思います。

そんな身近な病気“肺炎”ですが、身体機能や抵抗力
が落ちてきた高齢の方がかかってしまうと「その後
の生活」や「命」までにも影響することが珍しくあり
ません。

今回は“肺炎退散！！”をテーマに、「3つの今か
ら出来る肺炎予防」をお話します。



～肺炎予防 その①！～

口の中を清潔に！

肺炎の中には、唾液や食べ物が間違えて気管に
入ることによって起こる「誤嚥性肺炎」があります。

これは、高齢になると「飲み込む力」や「咳で
吐き出す力」が落ちてくることで起こりやすくな
ります。ではどうするか？

——答えは、口腔ケアです。

- ・毎日の歯磨きは朝と夜の2回しっかりと
- ・入れ歯は寝る前に外して、洗って、乾かす
- ・ページ右下掲載「パ・タ・カ・ラ体操」などの
嚥下体操（イラスト引用：リハツバメ）

口は、食べるためだけではなく、肺を守る砦で
もあるのです。

～肺炎予防 その②！～

ワクチンという“お守り”を持とう！！

特に65歳以上の方には、“肺炎球菌ワクチン”
の接種をおすすめしています。

これは、肺炎を引き起こす「肺炎球菌」とい
う菌に対するワクチンで、打っておくだけで重
症化リスクを大きく減らすことができます。

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ
に関しても、かかることで体力や気管の状態が
悪くなり2次的に肺炎が起こることも珍しくあ
りません。

ご高齢の方や心臓や肺にご病気をお持ちの方は、
改めて新型コロナウイルスやインフルエンザに対
するワクチン接種をご検討ください。

ご質問ありましたらお気軽に診療所にご連絡く
ださい。



内川先生・山崎保健師

健康講座

Health Corner

～肺炎予防 その③！～

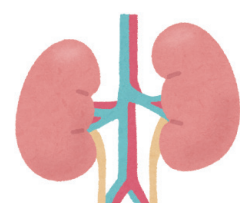
よく食べて、よく動いて、よく眠る！

肺炎を跳ね返す力、それは日々の体力と免疫力から生
まれます。

- ・食事を3食しっかり噛んで食べていますか？
- ・散歩などで外に出て、誰かとお話していますか？
- ・夜はちゃんと眠れていますか？

最後の砦は自分自身の身体です！！こうして振
り返ってみると「しっかり食べること」「しっかり
動いて話すこと」「しっかり眠ること」が一番大切
だけど難しいかもしれません。

北山村では“いきいきサロン”や“エクササイ
ズ”“ほのぼの会”など自分の身体に向き合いなが
ら外に出る機会が定期的に開催されているので是
非参加してみてください。



0歳から100歳まで笑顔であつまれる年末
年始に向けて、「肺炎退散！！」を合言葉に日々
の生活から元気な身体づくりを目指していき
ましょう！！



えんげたいそう 嚥下体操

まずは姿勢を整える！

- ・椅子に深く座る
- ・背筋を伸ばす
- ・両足をしっかりと
地面に着ける



①深呼吸

お腹に手を出して、
ゆっくりと深呼吸。



②肩の運動

肩をまわします。

前から後ろ、後ろか
ら前へと、どちらも
ゆっくりと。



③首の運動

首をまわします。
右回し、左回し、
両方とも。



④くちの運動

くちを大きく開
けるのと、しっ
かり閉じるのを
繰り返す。



⑤くちの運動2

「いー」と
横に引く。
「うー」と
尖らせる。



⑥頬の運動

ほっぺたに空
気をためて膨
らませる、反
対にすぼめる
を繰り返す。



⑦舌の運動

舌を大きく
動かす。



⑧発音練習

「く・た・か・つ」
それぞれを、ゆ
っくりはっきり
と繰り返す。



リハツバメ



令和 6 年度

一般会計

歳 出

総務費が全体の約40%

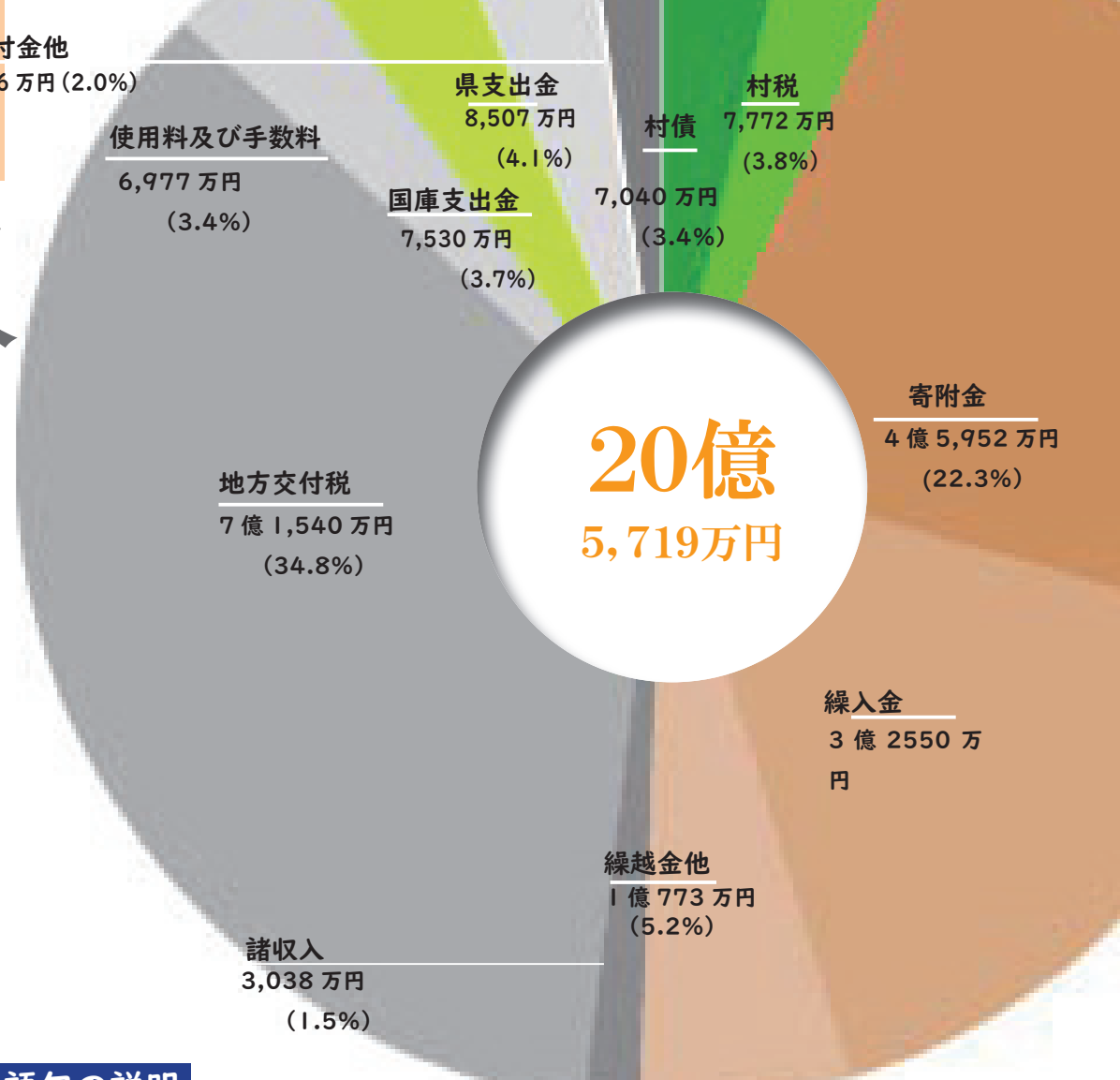
総務費が全体の40%近くを占めました。また、昨年度と比べて約6億7千万円歳出を抑えています。さらに、公債費を1億円繰り上げ償還してなお、黒字化しています。

一般会計

歳 入

自主財源は全体の52%

国や県などに頼っていない自主財源が52%と、ここ6年連続で歳入の半分を超えています。また、地方交付税が前年度と比べて、約4千4百万円増加しています。なお、貴重な財源であるふるさと納税は、度重なる制度改正により、減少しています。



語句の説明

総務費	……一般管理、税務、企画、ふるさと納税などに使われた費用
民生費	……高齢者、障がい者、児童福祉や保育所等などに使われた費用
衛生費	……保健衛生、塵芥処理費、し尿処理費等に使われた費用
農林水産費	……農業、林業の振興などに使われた費用
商工費	……おくとり温泉の指定管理料などに使われた費用
土木費	……道路橋梁の改良・維持管理、公営住宅管理に使われた費用
教育費	……小中学校などの管理運営や施設整備、社会教育等に使われた費用
公債費	……村の借入金の返済に使われた費用
その他	……ここでは議会費、消防費を含めている

特別会計

特別会計は一般会計と区分し、特定の収入と支出で経理を行う会計です。令和6年度は全ての特別会計において黒字決算となりました。

(単位：万円)			
会計名	歳入決算額	歳出決算額	収支額
国民健康保険	9,394	9,048	346
介護保険	11,395	10,330	1,065
後期高齢者医療	2,853	2,828	25
国民健康保険直営診療所	7,581	7,580	1
特別会計合計	3億1,223	2億9,786	1,427

報 告

決 算

語句の説明

村税	……村民の皆さんが村に収める税金、村民税、固定資産税などがある
使用料及び手数料	……土捨場使用料や村営住宅使用料など
寄附金	……ふるさと納税等の寄附金
繰入金	……財政調整基金等の取崩や地域振興事業特別会計からの繰入金
繰越金等	……翌年度に繰り越すお金や分担金及び負担金を含む
諸収入	……特定の歳入のためのものではなく、他の収入科目に含まれないもの
地方交付税	……どの市町村でも一定の行政サービスを行えるように、国から交付されるお金
村債	……財政負担の平等化などを図るため、国などから借りたお金
国庫支出金	……村が行う事業に対し、必要に応じて国から交付されるお金
県支出金	……村が行う事業に対し、必要に応じて県から交付されるお金
交付金他	……地方譲与税や地方消費税交付金などの各種交付金

主な事業

ふるさと納税業務委託料	2億3,135万円
林道七色開設工事	5,143万円
高齢者福祉センター運営委託料	4,135万円
観光筏下り運航委託料	3,379万円
新宮市への消防業務委託料	2,495万円
戸籍総合システム改修費	1,641万円
一般廃棄物処理業務負担金	1,539万円
森林環境整備委託料	1,347万円

村道下尾井木屋西久保線改良工事	1,305万円
温泉施設維持補修費	1,258万円
林道相須大谷線改良工事	1,105万円
七色橋橋梁補修工事事	1,076万円
おくとり温泉指定管理料	1,000万円
道の駅おくとり内装改修工事	910万円
観光筏下り受付事務委託料	884万円
下尾井村営住宅修繕工事	863万円
おくとり温泉源泉汲上ポンプ取替工事	786万円

北山村の子どもたち

サマーボランティア



敬老会



森林・林業学習



職場体験



ジオパーク見学





お問い合わせ

新宮薬剤師会
☎ 0735-5213360

体調やお薬のことを気軽に相談できる「かかりつけ薬局」を持つと安心です。食べ物や健康食品との飲み合わせ、他の病院の薬との併用、飲み忘れなど気になることは薬剤師に相談してみましよう。

新宮薬剤師会のホームページでは、各薬局の営業時間や感染症対策などを確認できます。

マイナンバーカードを健康保険証として使うと、お薬の飲み合わせも確認できます。

かかりつけ薬局 をもちましよう。

新宮薬剤師会からのお知らせ

お問い合わせ

和歌山労働局労働基準部賃金室
(TEL) 073-488-1152
又は最寄りの労働基準監督署

- 注** 「鉄鋼業」については、和歌山県鉄鋼業最低賃金が適用されます。
 - 注** 派遣労働者については、派遣先の地域別（又は特定）最低賃金が適用されます。
 - 注** 最低賃金額には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、時間外手当、賞与等は含まれません。
 - 注** 最低賃金は常用労働者だけでなく、臨時、パートタイマー、アルバイト等の呼称や労働者の年齢にかかわらず、全ての労働者に適用されます。
- 和歌山県最低賃金** が改正されました。
- 最低賃金額** 時間額 **1045 円**
- 効力発生日** 令和7年11月1日
- 適用範囲** 和歌山県内で働くすべての労働者とその使用者



和歌山労働局からのお知らせ

検査項目

問診、口腔内検査、口腔機能検査

対象者

令和7年3月末で75歳、80歳、85歳の方と90歳以上の方 ※長期入院者及び施設入所者は対象外です。

歯科健康診査のご案内

※対象の方には5月末に受診票等を発送しています。

検査項目

問診、計測、診察、血液検査（脂質・肝機能・糖代謝・腎機能・貧血）、尿検査（糖・蛋白・潜血）

対象者

75歳以上の方・65歳以上75歳未満で一定の障害があり認定を受けた方

健康診査

のご案内

健康診査は令和8年2月末日まで受けることができます。受診券をお持ちの方で、まだ健康診査を受けていない方は、この機会に是非ご自身の健康状態をチェックしましょう。

後期高齢者医療広域連合からのお知らせ

お問い合わせ

和歌山県後期高齢者広域連合
☎ 073-428-6688

入鹿中学校との英語交流会



北山ジオサイト見学



団体戦優勝！



広報きたやま
2025 NO.267

発行 北山村役場 企画振興課
〒647-1603 和歌山県東牟婁郡北山村大沼 42 番地
TEL : 0735-49-2331 FAX : 0735-49-2207

村の人口
12月1日
人口 381人 (-2) 男性 183人 (+1)
世帯数 233戸 (-4) 女性 198人 (-3)
高齢化率 41.2% ※ () 内は前号比

地域おこし協力隊日記

初めまして、IT系の大学を卒業して、新卒で北山村森林組合所属の地域おこし協力隊に着任した、松本桂明です。この文章の右下あたりに、北山小中学校の運動会で大はしゃぎする男の写真が掲載されていれば、それが僕です。

パソコンが得意なので、「パソコンの人」と覚えていただけると嬉しいです。僕の協力隊員としてのミッションは、もちろん「林業」です。

このため、村のイベント企画や商品開発といった「林業外」の活動に対して、協力隊としての予算や支援をいただくことはできません。ですが、それは「制度上のお話」です。せっかく「パソコンの人」が村にいるのに、そのスキルを使わないのはもったいない！

ぼくにできる範囲であれば、ボランティアとしてデジタル技術で村の皆さんのお手伝いをしたいと強く思っています。

「スマホの使い方がわからん」「パソコンが変な音を立ててる」どんな些細なことでも構いません。「こんなこと頼んでいいのかな？」と遠慮せず、まずは「パソコンの人」に声をかけてみてください。平日はだいたい森林組合にいます。

林業とデジタルの二足のわらじで、北山村を盛り上げていきます！よろしくお願いします！



じゃんけん列車で優勝した松本さん（24歳）



広報担当の粹

あっという間の1年でした

北山村に慣れてきたつもりでしたが、日本家屋の風通しの良さは寒さも人一倍ですね。寒さを乗り越えるため、健康のためにも外を歩こうとは思っていますが、谷風を肌で感じると、心が折れてついつい家に閉じこもってしまっています。さて、年を重ねる毎に何故か1年が短くなっているように感じますが、この広報が発行される頃には、いよいよ新年を迎えます。皆様は2026年の抱負はもう決まりましたか。今年は午（うま）年とのことで、馬のように未来に走り出すという意味があり、何かを頑張ったり始めたりするのにぴったりな年だそうです。私も心機一転、朝は早起きして外を散歩したり、運動でも始めて寒さに負けない健康な体づくりに励もうと思います。皆さんも健康に気を付けて良いお年をお過ごしください。

（広報担当：村林 卓郎）